



シルバーだより

No. 280

平成 25 年 10 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～心に残る歌を財産に～

♪ 「あなたの心に」 ♪

音楽教室講師 飯島純子

赤い毛糸に だいだいの毛糸を結びたい
だいだいの毛糸に レモン色の毛糸を結びたい
レモン色の毛糸に 空色の毛糸も結びたい
青い空と 深い緑の森を結びたい
結びたいんだ この町に生きるひとりひとりを
私の思いを あなたの心に



この詩は大山都子（さとこ）さんという方が 19 才の時に書いた詩です。作曲家の川崎祥悦先生が曲をつけ、すてきな歌になりました。音楽教室では、今まで 3 回にわたりこの曲を歌っていて、学芸会でも発表してきました。

作詞者は実は、あのオウム真理教事件の犠牲になった坂本堤弁護士の妻、都子さんなのです。都子さんは障害者や中国からの帰国子女の支援などにとり組んでいたということで、そんな彼女の人となりがわかるような詩だと思えます。一家の遺体が発見された富山県魚津市には慰霊碑があり、市民有志によってメモリアルコンサートをするにあたり、川崎先生が作曲を依頼されました。ずっと地元のアマチュア合唱団によって歌われていると知り、感動しました。

私がある会合で川崎先生とお会いした時にこのお話を伺い、ぜひ楽譜を見せていただきたいとお願いしたのです。この歌を音楽教室の皆さんと歌うたびに、あの忌まわしい事件を思い出しますが、今後二度とあのようなことの起こる社会であってはいけないと祈る思いでいつも歌っています。

この曲の他にも「サウンド・オブ・ミュージック」や「百万本のバラ」など 2 度、3 度と歌ってきた歌があります。どの歌も、歌の中にドラマがあります。生徒さんたちはご自分の長い人生経験と重ね合わせて、そのドラマを豊かに受け止めて表現し、歌ってることができました。長い間メンバーでいらっしゃる方とは「2 度、3 度と歌い継いできた歌は、もはやこのシルバー音楽教室の財産になりつつありますね」と話しています。これからも歌う人、また聴いてくださる人の心にのこるような歌を、素敵なハーモニーにのせて皆さんで歌っていきたいと思います。

文字を読む



記録的な猛暑は鉢の中の植物を枯らし、足跡を残して少し離れはじめた。今朝は形のいい白い雲のある秋らしい空。窓から入ってくる風もひんやりと涼しい。きれいな空を見上げていると何かいい事があるような気さえする。

やっぱりあった。オリンピックを招致出来た。七年先に見ることの出来る望みをかけて生きるのも悪くはない。シルバー大学の在校生なら大丈夫。あの猛暑に耐える体力をもっているのだからと思った。

やる事のない日の多い私は、テレビを見ている時間ばかり、主に韓国のドラマを見ている。理由があるんです。

この頃、家族と同じ音声では聞こえにくいので、文字を読めば理解することが出来るからです。今更ながら、字が読めるのは有り難いと思う。当然のことなのだが。

全国民が字が読めて書けるといふ、その必要があると気が付いたのは、徳川家康だそうです。「字が読めないと、争いばかり多くて国は栄えない。字が読めれば物の道理もわかる」と、文字を学ぶ文化に力を注いだと、ラジオ第二放送高校講座歴史発見を聞いて知りました。徳川幕府が300年も続いた由縁だと思いました。字を読めばなんでも簡単に知ることが出来る。目標も見つけやすい。

子供達は、きっと得意にしているスポーツで、オリンピックに出たいと努力するに違いない。シルバー大学の学生も授業を受けようと云う目標がある。いい事ですよ。 広報部長 佐藤恒子

☆☆☆「創立30周年 祝賀会」のお知らせ☆☆☆

周年委員長 高橋建司

荒川シルバー大学は創立30周年を迎えました。学園祭を目途に「記念誌」も作成中です。記念誌には役員、講師、学生の言葉や創立以来はじめて学生の皆様に協力いただきましたアンケートの集計結果等も掲載します。つきましては、祝賀会を下記の日程で開催いたします。万障繰り合わせのうえご参加ください。

日 時 平成25年11月18日(月) 18時30分～21時(予定)

会 場 サンパール荒川小ホール(3階) 会 費 5,000円

教室単位でテーブルを作る予定です。また、各教室では楽しい余興等の準備などして参加下さることをお願いいたします。創立20周年記念以来の祝賀会となります。多くの方々と懇親を深め、大学の思い出と将来について語り合いたいと思いますので大勢の皆様参加をお待ちいたしております。

夏の思い出

～すっくと立った立佞武多（たちねぶた）～

夏本番、全国の夏祭り情報を目にするようになった或る日、西日暮里駅で懐かしいポスターを見た。それは青森県五所川原の立佞武多だった。



5年前の2月、私は雪深い五能線を旅した。五能線は青森の五所川原から秋田の能代間を走っている。五所川原には太宰治の生家があり、今は斜陽館として観光の名所になっている。此の時の私の旅の一番の目的はここを見学することだった。

然し大きな建物の中の立佞武多を見た途端すっかり虜になってしまった。螺旋状の通路を上へ上へ登って行き、全体を見た時その大きさに驚いた。こんな大きい物が五所川原の市街地を練り歩くというのだから興味津々だ。動く姿を見たい。見に来ようと決めた。

その年の8月、東北三大祭りを見物するという企画を見つけ参加した。青森のねぶた、立佞武多、そして仙台の七夕まつりだ。全区間バスの移動だからかなり強行だが、期待が大きいためか余り疲れを感じなかった。最初に青森へ行き、勇壮な武者絵のねぶたを見学した。

五所川原は2日目だった。通りに面した場所に椅子が並べられて、着々と準備が進んでいる。ある店の前の椅子を予約をして、食事をすることにした。旅先で知り合った女性とおすし屋さんに入り、ビールを飲みながら青森の海の幸をたっぷり堪能した。

いよいよ立佞武多のお出ました。高さ22メートル（7階建てのビルに匹敵する高さ）重さ16トンの巨大な人形が3台、小さい山車を従えてやって来た。市民の皆さんの「ヤッテマレー、ヤッテマレー」の掛け声と共にゆっくり動き出した。待ち構えていた観光客を圧倒し「うわー大きい」「すごい、スゴイ」感嘆の声があちらからもこちらからも沸き起こった。矢張り来て良かった。動く姿を見られた良かった。


この大きな3台は、3年間の勤めを果たしたらお役御免、ご苦労様となり毎年一台ずつ一年掛けて新しく製作しているそうだ。

五所川原の皆さんはこの日を待ち望み、一緒に歩くために小物の手提げ袋を作ったり、衣装を考えて準備するそうだ。この祭りに込める熱い思いを感じつつの旅だった。

そして夏は終わり、五所川原の人々は、次の夏を心待ちにする。来年も元気にこの日をみんなで迎えられることを念じながら……。

広報部 井口和子

10月の行事予定

期 日	行 事	プロフィール
10日 (木)	<u>合 同 講 義</u> 「出会いに育てられて」 講師：宮川ひろ (児童文学作家)	元小学校教師、後 執筆活動 「るすばん先生」「春駒のうた」「母からゆずられたエプロン」他作品
会場：サンパール荒川三階 小ホール 開演 14時～		
25～27日 (金土日)	<u>学 園 祭</u> 展示：25日/13時半～、26日/9時～17時、27日/15時まで お茶席=26日と27日 チャリティ販売 (陶芸作品)=27日	
会場：ムーブ町屋 3階・4階		
29～31日 (火水木)	<u>研 修 旅 行</u> 蒲郡みかん狩りと浜名湖遊覧船 宿泊：館山寺温泉 『サゴロイヤルホテル』	

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (9月) ◆◆◆◆◆

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 3日 常任理事会・役員会
(学園祭他) | 13日 学園祭打ち合わせ
(ムーブ町屋にて) |
| 3日 学園祭お茶券販売開始 | 19日 朗読教室発表会 |
| 11日 学園祭が 駅-都電駅掲示申請 | 28日 シルバーだより 280号作成 |

※ 事務局だより ※

- ① 学園祭 期日：10月 25日・26日・27日(金土日)

② 写真教室からのお知らせ：有志による作品展
11月12日(火) 13:00～11月18日(月)
会場：サンパール荒川 2階ギャラリー

③ 10月の変更教室について



日本の話芸教室：15日(第5)と22日(大会議室)になります。

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長・田原